

*High Performance PC Audio*

# DS-200

**192kHz/32bit + DSD128 USB D/A Converter**

---

取扱説明書

**Soundfort**

[www.soundfort.jp](http://www.soundfort.jp)



# 1 はじめに

---

弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
正しく、安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

## 2 お使いになる前に

---

安全上のご注意

**安全にお使いいただくために必ずお守りください。**

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、警告事項・注意事項について説明していますので、内容をよく理解してからお使いください。



**警告：** この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意：** この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



**万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください。**

## ● 周辺機器への影響

本製品を人命や身体、財産に関わる重大事故が発生する恐れのある設備、機器等の周辺では、使用しないでください。

- ・電波による誤動作を引き起こす可能性がある医療機器の近くでは使用しないでください。
- ・航空機、原子炉設備などの重要施設では使用しないでください。
- ・軍事目的（武器、テロ行為）や軍事関連施設では使用しないでください。

## ● 故障のときは使用しない

万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。

煙や変な臭いがしなくなることを確認して弊社に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

## ● 改造の禁止

本製品のカバー・基板を外し、改造したり、分解したりしないでください。火災・感電の原因となります。製品の点検・修理は弊社にご連絡ください。



**万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください。**

### ● 破損した場合

本製品を落としたりした場合は、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、弊社にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### ● 電源ケーブルの取り扱い

電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり結んだりしないでください。また、ケーブルの上に重いものをのせたり、加熱したりすると、電源ケーブルが破損して、火災・感電の原因となります。

電源ケーブルが傷んだ場合は、弊社に修理をご依頼ください。

### ● 湿度の高いところでの使用は禁止

本製品を湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

### ● 内部に水が入ったり、濡れたりした場合

内部に水などが入った場合は、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、弊社にご連絡ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



**万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください。**

● **入力電源の注意**

電源電圧はAC100Vでご使用ください。AC100V以外では絶対に使用しないでください。  
製品の故障や火災・感電の原因となります。

● **濡れた手での操作禁止**

濡れた手で電源ケーブルの抜き差しおよび各種操作をしないでください。  
感電の原因になります。



## 注 意

### ● 温度が高くなる場所での使用禁止

日光が直接当たるところや暖房機器のそばなど、温度が高くなる場所には置かないでください。装置の温度が高くなると、故障および火災の原因になることがあります。

### ● 火気付近での使用禁止

電源ケーブルを熱器具に近づけないでください。ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因になることがあります。

### ● 不安定な場所での使用禁止

ぐらついた台の上や積み重ねた台の上など、不安定な場所には置かないでください。落下して、けがや故障の原因になることがあります。

### ● 長期間使用しないとき

長期間使用しないときは、安全のため電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

### ● 湿気やほこりに注意

湿気やほこりの多い場所で本製品を使用しないでください。故障や火災・感電の原因となることがあります。



## 注意

### ● ACアダプターの取扱い

ACアダプターをコンセントから抜くときは、アダプターの本体（一体型）もしくは付属の電源コードのプラグ部分をしっかりと持って抜いてください。ケーブルを持って引き抜くとケーブルが損傷し、故障および火災などの原因になることがあります。

### ● 付属 AC アダプター以外の電源アダプター使用禁止

付属のACアダプター以外の製品をご使用になりますと、性能が発揮されないだけでなく、故障や火災の原因になることがありますので、付属品以外は使用しないでください。

### ● 大音量での連続使用

最大音量で長時間使用すると、スピーカーやヘッドフォン破損や製品故障の原因となります。また、身体へ悪影響を及ぼす危険や他人への迷惑ともなりますので、適切な音量でお楽しみください。

### ● 製品の落下

本製品を移動するときには十分注意し、落下させないようにしてください。落下させますと故障の原因になるだけでなく、けがをする危険があります。



 **注 意****● 電源を入れるときやケーブルを抜き差しするとき**

音量を上げたまま、電源を入れたり、RCAケーブル等ケーブルの抜き差しをしないでください。突然大きな音が出たり、ノイズでスピーカーを破損する危険があります。

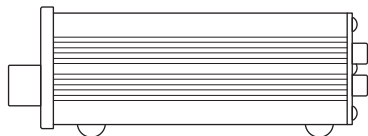
**● 接続端子を短絡させない**

本装置の接続端子を短絡させて使用すると、故障や火災の原因となることがあります。指定以外のケーブルや端子を接続しないでください。

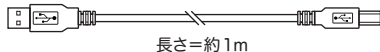
### 3 梱包内容の確認

Soundfort **DS-200**

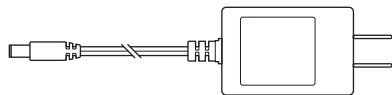
お買い上げいただいた製品の付属品をご確認ください。



1) DS-200本体 ..... 1台



2) USBケーブル (A/Bオス) ..... 1本



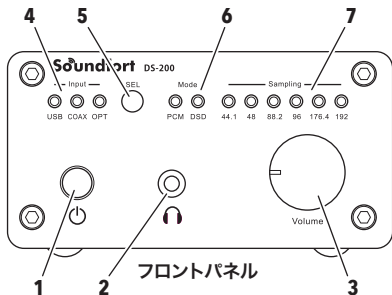
3) ACアダプター (DC6V 2A) ..... 1台



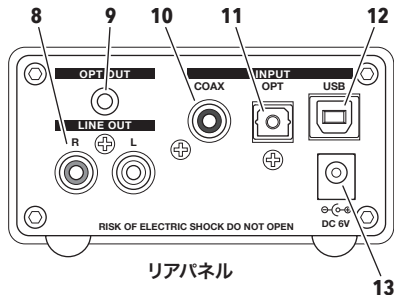
4) 取扱説明書/保証書 (本紙) ..... 1部

## 4 各部の名称と機能

Soundfort DS-200



1. 電源ボタン
2. ヘッドホンジャック  $\phi$ 3.5mm
3. ヘッドホンボリューム
4. インプット (外部入力) インジケータ
5. インプット (外部入力) セレクトボタン
6. PCM/DSDモードインジケータ
7. サンプリング周波数インジケータ



8. RCAアナログライン出力端子
9. 光デジタル (S/PDIF) 出力端子 ( $\phi$ 3.5mm)
10. 同軸デジタル (S/PDIF) 入力端子
11. 光デジタル (S/PDIF) 入力端子 (角形)
12. USB接続端子 (USB-B)
13. ACアダプター (電源) 接続端子

DS-200は、MacOS XおよびWindowsとのUSB接続に対応していますが、Windowsでご利用の場合は、接続の前に専用ドライバーのインストールが必要となります。

次の手順でWindowsにドライバーをインストールしてください。

(MacOS Xの場合は必要ありません)

### 1) Windows ドライバーのダウンロード

下記の弊社Webサイトより、DS-200用の最新のドライバーをダウンロードしてください。

ダウンロードサイト : <http://www.soundfort.jp/>

ダウンロードページ : 「ダウンロード」→「ドライバー」のDS-200の項

### 2) Windows ドライバーのインストール

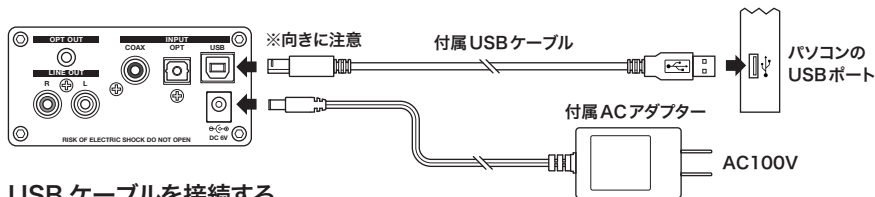
ドライバーソフトのインストール方法詳細は、上記Webページを参照ください。

ご注意：

- ・ ドライバーのインストールは、起動中のソフトを全て終了し、他のUSB機器を取り外した状態で行ってください。また、インストール後にPCの再起動が必要になります。
- ・ ドライバーのインストールにより、DS-200専用ドライバと同時に、SaviAudio社製ASIO転送状態モニターソフト (BRAVO-HD) がインストールされます。

## 6-1 パソコンとの接続と設定(接続編)

Soundfort **DS-200**



### 1) USB ケーブルを接続する

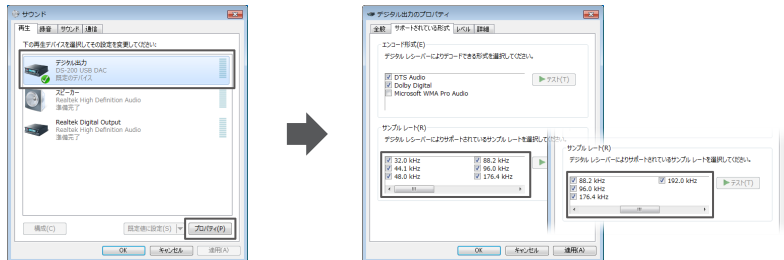
パソコンの電源が入っている状態で、付属のUSBケーブルでDS-200とパソコンを接続します。DS-200のUSBジャックは他の機種と上下逆になっているため、USBプラグを挿す向きに注意してください。(Windowsの場合は事前にドライバーをインストールしてください)

### 2) AC アダプタを接続し、電源を入れる

1. 付属のACアダプターの端子をDS-200に接続し、ACアダプタをコンセントに差し込みます。
2. DS-200の電源ボタンを押し、電源を入れます。  
(インプットインジケータとPCM/DSDモードインジケータの「PCM」が点灯します。)
3. そのまましばらくすると、MacOS X、Windows (ドライバーインストール済) 共に、DS-200が自動的に認識されます。

### ● Windows の設定 (Windows 7 での例)

- 1) 「コントロールパネル」→「サウンド」を開きます。  
(タスクトレイのスピーカーアイコンを右クリック→「再生デバイス」を選択、でも可)
- 2) 「DS-200 USB DAC」という名前が表示された「デジタル出力」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックまたはタップします。
- 3) 「デジタル出力のプロパティ」の画面で、「サポートされている形式」タブを選択します。
- 4) 「サンプルレート」の項で、「32.0kHz」から「192.0kHz」まで全てにチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックまたはタップします。

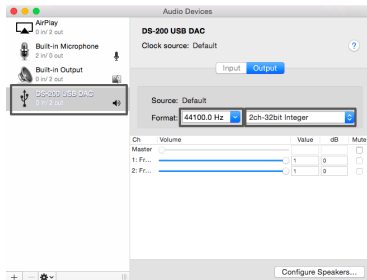


## 6-3 パソコンとの接続と設定 (MacOS X 編) Soundfort DS-200

### ● MacOS X の設定 (MacOS X 10.10 “Yosemite” での例)

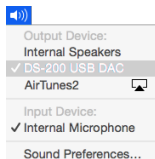
- 1) メニューバーの「移動」→「ユーティリティ」フォルダを開き、「Audio MIDI 設定」を起動します。
- 2) 画面左側の「DS-200 USB DAC」を選択し、画面右側でフォーマットを「44100.0Hz」「2ch-32bit integer」に設定して「Audio MIDI 設定」を終了します。

※ここで設定したサンプリング周波数が、Macで音声を再生した際に、DS-200本体「サンプリング周波数インジケーター」の点灯値と連動します。



#### Tips

音声の出力先を、他のUSB DACや内蔵スピーカーなどに変更したい場合は、メニューバーのスピーカーアイコンを「Option」キーを押しながらクリックすると簡単に切り替えられます。



# 7 他の機器との接続

Soundfort **DS-200**

接続ケーブルを抜き挿しする際は、本体の電源を切ってください。

- ・USB DDC
  - ・BD/DVDプレイヤー
  - ・SACDプレイヤー
  - ・ゲーム機
- etc.

光デジタルケーブル (角形 / 別売)

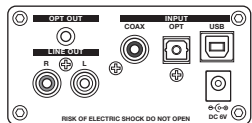
同軸デジタル  
ケーブル (別売)

光ミニデジタル  
ケーブル (別売)

ご注意:

角形→ミニ変換アダ  
プターは使用しない  
でください。

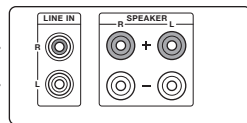
- ・DAC
  - ・AVアンプ
- etc.



**DS-200**

アナログRCAケーブル (別売)

- ・プリメインアンプ
  - ・ヘッドフォンアンプ
  - ・オーディオミキサー
- etc.



弊社製品例:

**Q9** (ハイレゾ真空管アンプ)

**AS-100** (デジタルアンプ)

**HS-100** (ヘッドフォンアンプ)



## DAC 構成

DAC	PCM1795DB
USB I/F	SA9226
S/PDIF	WM8805

## デジタル入力 (USB)

入力端子	USB-B (USB 2.0, Asynchronous)
量子化ビット数	16/24/32bit
サンプリングFs	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz
DSD	DSD64, DSD128 (DoP対応)
対応OS	Windows XP/Vista/7/8/10 MacOS X 10.4以降

## デジタル入力 (S/PDIF)

入力端子	同軸デジタル x1, 光デジタル (Toslink) x1
量子化ビット数	16/24bit
サンプリングFs	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz

## デジタル出力 (S/PDIF)

出力端子	光デジタル (φ3.5mm ミニ端子) x1
量子化ビット数	16/24bit
サンプリングFs	44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz

## アナログ出力 (RCA)

出力レベル	3.0V±5% rms (2kΩ)
周波数特性	20Hz - 40kHz (±0.3dB)
SNR	< 114dBA (1kHz)
THD	> 0.0006% (1kHz)
セパレーション	< 110dB (1kHz)

## ヘッドフォン出力

アンプIC	TPA6120A2
最大出力	300mW (32Ω, 0.1%)
周波数特性	20Hz - 40kHz (+0.2, -2.0dB)
SNR	< 101dBA (1kHz)
THD	> 0.001% (1kHz, 50mW)

## 電源

ACアダプタ	DC 6V 2A
消費電力	1.8W

## 外形寸法および重量

外形寸法	(W)94 x (H)48 x (D)123 mm ※ツマミ等の突起部を除く
重量	約500g

### ● ハイレゾ対応再生ソフトウェアでのアップサンプリング再生時のご注意

本製品にて、ハイレゾ対応再生ソフトウェア等で「アップサンプリング」再生を行う場合は、アップサンプリング後のデータが「192kHz」を超えないようにご注意ください。

本製品は、最大32bit/192kHzまでのPCM音源の再生に対応しており、それを超えるサンプリング周波数のデータが入力された場合、無音状態になったり、その後の動作が不安定になる場合があります。

誤って192kHzを超えるデータを再生してしまい、動作が不安定になった場合は、再生を停止し、一旦本製品の電源を切った上、電源ケーブルを外して10秒ほど放置した後、再度電源ケーブルを接続して電源を入れなおしてください。

尚、MacOS X及び一部のハイレゾ対応再生ソフトウェア上で、「352.8kHz」が認識・表示される場合がありますが、「352.8kHz」はDSD128 (5.6MHz) のDoP転送用ですので、選択しないようご注意ください。

### ● ヘッドフォンでの小音量再生時の左右の音量差(ギャングエラー)について

本製品のヘッドフォンアンプには高信頼性のボリュームを使用しておりますが、個体や経年変化等により、小音量にてヘッドフォンをご使用の際に、まれに左右の音量差(ギャングエラー)が生じる場合がございます。(特に16Ω程度のインピーダンスの低いヘッドフォン使用時)

これはボリュームの機構上発生する問題のため、原理的に完全には解消できません。

小音量時に左右の音量差が気になる場合は、再生ソフト側の音量を少し下げ、本製品のボリュームを少し大きくすることにより軽減・解消できます。

## 9 使用上のご注意

Soundfort DS-200

---

### ● 表面処理について

本製品は日本人による設計、管理のもと中国で生産されています。

品質管理には十分注意しており、装置の表面処理なども弊社基準で管理しております。

生産上、まれに表面処理に若干のムラが認められる場合がございますが、ご了承いただけますようお願い申し上げます。

## 10 お問い合わせ先

---

その他、ご不明点、ご質問等がございましたら、弊社 Web サイト内、お問い合わせフォームにてお問い合わせください。

弊社 Web サイト URL <http://www.soundfort.jp/>

お問い合わせ先 上記 Web サイト内「お問い合わせ」

# 保証書

---

型式名		DS-200
シリアルNo.		
お客様	お名前	
	ご住所	
取扱販売店名・住所・電話番号		
保証期間	お買い上げ日	本体はお買い上げ日より 1年間
	年 月 日	

## 【無償修理規定】

- 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い上げの販売店が無償修理いたします。
- 無償保証期間でも次の場合は有償修理となります。
  - 本保証書のご提示が無い場合
  - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入が無い場合、または字句を書きかえられた場合
  - ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷
  - お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷
  - 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風・水害その他の天災など、外的要因による故障・損傷
  - 本製品で規定する使用環境以外でご使用された場合の故障・損傷
- 無償保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はおお客様の負担となります。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。